

Cisco Webexサービスの証明書検証の脆弱性



アドバイザリーID : cisco-sa-webex-cui-cert-8jSZYhWL

[CVE-2026-20184](#)

初公開日 : 2026-04-15 16:00

最終更新日 : 2026-04-16 18:52

バージョン 1.1 : Final

CVSSスコア : [9.8](#)

回避策 : No workarounds available

Cisco バグ ID : [CSCwt37111](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Webex ServicesのControl Hubとシングルサインオン(SSO)の統合における脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者がサービス内の任意のユーザになりすますことができた可能性があります。

この脆弱性は、証明書の不適切な検証が原因で発生しました。この脆弱性に対処する前に、攻撃者はサービスエンドポイントに接続し、巧妙に細工されたトークンを提供することにより、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は正当なCisco Webexサービスに不正にアクセスできる可能性があります。

シスコは、Cisco Webexサービスでこの脆弱性に対処しています。ただし、SSO統合でトラストアンカーを使用している影響を受ける組織では、顧客のアクションが必要です。

この脆弱性に対処する回避策はありません。

サービスの中断を回避するために、SSO統合でトラストアンカーを使用している顧客は、新しいアイデンティティプロバイダー(IdP)SAML証明書をControl Hubにアップロードする必要があります。詳細については、「[Control Hubでのシングルサインオン統合の管理](#)」を参照してください。

このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-webex-cui-cert-8jSZYhWL>

該当製品

脆弱性のある製品

この脆弱性は、Control HubとのSSO統合でトラストアンカーを使用するように設定された、クラウドベースのCisco Webex Servicesに影響を与えました。

トラストアンカーが使用されているかどうかを確認する

トラストアンカーを使用するユーザのみが、この脆弱性の影響を受けます。トラストアンカーが使用されているかどうかを確認するには、Webex Control Hubにログインし、SSO設定を確認します。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性が存在する製品](#)セクションにリストされている製品だけがこの脆弱性の影響を受けることが知られています。

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

シスコは、クラウドベースのCisco Webexサービスでこの脆弱性に対処しています。

サービスの中断を回避するために、SSO統合でトラストアンカーを使用している顧客は、新しいアイデンティティプロバイダー(IdP)SAML証明書をControl Hubにアップロードする必要があります。詳細については、「[Control Hubでのシングルサインオン統合の管理](#)」を参照してください。

その他の情報が必要な場合は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

出典

本脆弱性は、シスコ内部でのセキュリティテストによって発見されました。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-webex-cui-cert-8jSZYhWL>

改訂履歴

| バージョン | 説明 | セクション | ステータス | 日付 |
|-------|-----------------------|--------------------------|-------|------------|
| 1.1 | トラストアンカーの使用に関する情報を追加。 | 要約、脆弱性が存在する製品、修正済みソフトウェア | Final | 2026年4月16日 |
| 1.0 | 初回公開リリース | — | Final | 2026年4月15日 |

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。